

スプレー缶の取扱いにご注意を！！

北海道札幌市で発生した爆発火災。詳細な原因等は、調査中ですが、事務所内で多数の消臭スプレーの缶を噴射させた後に、ガス給湯器を使用したことが爆発に繋がったと報道されています。今回は、消臭スプレーやヘアスプレーなどの正しい使用方法と処分方法について考えてみましょう。

①製品の注意書きをよく読む。

スプレー缶には、LPGなどの可燃性ガスが噴射剤として使用されていることが多いので、注意書きをよく読み、火気の近くなどで使用しないように注意しましょう。

②使用する際は換気の良い場所で。

スプレー缶を使用する際には換気の良い場所で使用するようにしましょう。ヘアスプレーや消臭スプレーも、可燃性ガスが噴射剤として使用されている場合が多いです。換気を良くし、必要以上の量を使用しないように注意しましょう。

③中身を完全に使い切ってから。各区市町村で指定された処分方法で。

中に噴射剤が残った状態でゴミとして出すと、ゴミ収集車やゴミ集積所で火災に繋がる恐れがあります。しっかり使い切ってからゴミとして出しましょう。また、やむを得ず残ったガスを噴射させる際は、火気のない通気性の良い屋外で、残存ガスがなくなるまで噴射し廃棄しましょう。

※スプレー缶に穴を開けたことに起因して、火災が発生する恐れがあります。

問合せ先

〔東京消防庁日野消防署
予防課防火査察係（内線520）〕